2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：基礎医学１

対象クラス(コース)：１学年　　医療ビジネス　学科（医療事務コース）
単 位 数：２単位
担当者名：矢﨑美裕子
授業形態：講義
教　　材：読んでわかる解剖生理学、三訂医療用語、三訂医療秘書、医療秘書検定 3 級過去問題
教員の実務経験：一般職（システム運用）5 年間勤務
医療機関において 6 年間勤務（うち 2 年間はドクターズクラーク兼院長秘書）
医療秘書の教員歴 7 年。
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：人体の身体の構造や働きを解剖生理学的見地から解読し、関連する医療用語も教授する。医療機関勤務経験を活かし、受付スタッフとしての接遇マナー、カルテを読むために必要な医学の基礎知識を教授する。

到達目標：
(1)スタッフ部門職員が心得るべき医学知識の取得。
(2)カルテが読めて理解できる。
(3)各種の医療情報が理解できる。
(4)生命の尊さを知り人間形成の一助とする。
(5)医学に関して興味を持ち、自ら調べる力をつける。

評価方法／基準：
定期テスト３０％　レポート５０％　授業貢献度（出席、意欲・小テスト）２０％

その他，注意事項：連絡なしの欠席については、平常点から減点する。
病気等やむを得ない欠席だった場合は、欠席した分の課題を渡す。
課題の提出がない場合は、定期試験実施時に追加する。

関連する主な検定試験：医療秘書技能検定　3 級（１１月）

キーワード：解剖生理学、医療秘書概論、医療英語、医療漢字

＜授業計画＞

第１週	ガイダンス/総論 授業の目的、授業の進め方、評価方法について説明 なぜ医療事務スタッフに基礎医学の知識が必要なのか理解を深める。 医療用語１
第２週	人体の構造・骨格　PBL 細胞と組織　骨格筋および平滑筋収縮の機序について理解を深める。 骨はどのように成長するのか説明できる。 医療用語2
第３週	血液　PBL 血液の分類、働きについて理解を深める。 細菌感染するとなぜ発熱するか説明できる。 医療用語3
第４週	血液の循環　PBL 心血管機能について理解を深める。 エネルギーはどのように体内に供給されるのか説明できる。 医療用語4
第５週	呼吸器　PBL 呼吸器系について理解を深める。 呼吸で肺の大きさに変化はあるのか説明できる。 医療用語５
第６週	消化器1　PBL 口腔内および胃内消化機能、小腸における消化吸収機能、排便の仕組みについて理解を深める。 食物は体内をどのように移動するのか説明できる。 医療用語６
第７週	消化器2　PBL 膵臓や肝臓などの役割について理解を深める。 栄養素が体内においてどのように変化し吸収されるの説明できる。 医療用語７

第８週	泌尿器　PBL 腎臓の解剖と生理について理解を深める。 尿がどのように生成されるのか説明できる。 医療用語８
第９週	脳・脊髄　PBL 大脳の構造や働きなどについて理解を深める。 中枢神経の役割はなにか説明できる。 医療用語９
第１０週	脳神経　PBL 交感神経と副交感神経について理解を深める。 緊張するとなぜ心拍数が増えるのか説明できる。 医療用語１０
第１１週	感覚器　PBL 視覚・聴覚・皮膚感覚について理解を深める。 脳神経と感覚受容器の関連について説明できる。 医療用語１１
第１２週	内分泌　PBL 内分泌系機能について理解を深める。 体温が一定に保たれているのはなぜか説明できる。 医療用語１２
第１３週	内分泌疾患１　　PBL ホルモンの作用について理解を深める。 代謝がもたらす影響について説明できる。 医療用語１３
第１４週	内分泌疾患２　PBL 内分泌の調節について理解を深める。 ホルモンの調節は体内でどのように行われているのか説明できる。
第１５週	総括

2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：医療法規Ⅰ

対象クラス(コース)：１学年　医療ビジネス学科（医療事務）
単 位 数：2 単位
担当教員名：矢﨑美裕子
授業形態：講義
教　　材：、最新・医療事務入門　2025 年版　3 訂医療秘書概論
教員の実務経験：
一般職（システム運用）5 年間勤務。医療機関において 6 年間勤務（うち 2 年間はドクターズクラーク兼院長秘書）
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：この講義は医療秘書検定３級「領域Ⅰ」、診療報酬請求事務能力認定試験に対応している。医療機関勤務経験を生かし多職種協働の医療現場の実際と協働作業の一員として活動するための医療法規の概要、窓口応対に必要な知識を指導する。

到達目標：
(1)医療秘書検定 3 級合格に必要な知識の習得
(2)健康保険法について説明できる。
(3)医療法について説明できる。
(4)診療報酬の請求方法について説明できる。
(5)その他各種法規について理解できる。

評価方法／基準：
定期テスト３０％　レポート２０％　授業貢献度（出席、意欲・小テスト）５０％

その他，注意事項：
連絡なしの欠席については、平常点から減点する。
病気等やむを得ない欠席だった場合は、欠席した分の課題を渡す。
課題の提出がない場合は、定期試験実施時に追加する。

関連する主な検定試験：医療秘書検定 3 級、

キーワード：医療法、健康保険法、診療報酬請求、窓口応対

＜授業計画＞

第１週	医療事務とは 医事課と医療事務
第２週	接遇の基本 医療事務員の患者接遇
第３週	外来業務 （新患受付/再来受付）
第４週	入退院業務 （入院手続き/退院手続き/病床管理）
第５週	保険請求業務 （診療報酬とは/診療報酬点数表の基礎知識）
第６週	法規とは/法規の種類 医療法①（医療提供理念）（医療機関の種類と組織）
第７週	医療法② （医療機関の種類と組織）
第８週	医療保険に関する法規１ （医療保険制度）
第９週	医療保険に関する法規２ （医療保険の種類）
第１０週	医療保険に関する法規３ （高額療養費制度、保険外併用療養）
第１１週	保険診療に関する法規 （療養担当規則）
第１２週	院内感染予防と感染症法
第１３週	個人情報保護法
第１４週	定期試験
第１５週	総括

2025年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：テクノロジ概論

対象クラス(コース)：１学年　医療ビジネス学科（医療事務／ITコース）
単 位 数：２
担当教員名：八巻　祐治
授業形態：講義
教　　材：令和07年 イメージ＆クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室（情報処理技術者試験）

教員の実務経験：社内システムサポート・Webサイト構築・CBT実施/サポート10年

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：
　資格試験（ITパスポート試験）の内容に沿って、社内（院内）システムの運用やサポート業務に就く上で必要となる基本的なICT技術を理解する。また、ITパスポート試験に出題された問題の解説もしながら、現場で遭遇する様々なトラブルや解決方法の実例を交えて講義する。

到達目標：
(1)コンピュータシステムの概念が理解できる
(2)トラブルシューティングする際に必要な基礎知識を習得する。
(3)ITパスポート試験のテクノロジ分野が理解できる。

評価方法／基準：
期末テスト及び出席状況と授業態度により総合評価する。
　総合評価80点以上･･･A評価
　総合評価70点以上･･･B評価
　総合評価60点以上･･･C評価
以上以外はすべてD評価とする。

その他，注意事項：
ITパスポート試験の受験に関しては、前期の当該授業ではテクノロジ分野のみの講義であり、後期に予定している「ストラテジ概論」受講後を推奨する。

関連する主な検定試験：
ITパスポート試験
キーワード：
ITパスポート試験、ICTテクノロジ

＜授業計画＞

第１週	ハードウェア１
第２週	ハードウェア２
第３週	ソフトウェア１
第４週	ソフトウェア２
第５週	システム構成１
第６週	システム構成２
第７週	ネットワーク１
第８週	ネットワーク２
第９週	ネットワーク３
第１０週	セキュリティ１
第１１週	セキュリティ２
第１２週	データベース１
第１３週	データベース２
第１４週	アルゴリズムとプログラミング
第１５週	期末試験 まとめ

2025年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：ネットワーク基礎演習１

対象クラス(コース)：1学年　医療ビジネス学科（　ITコース　）
単 位 数：2
担当教員名：片寄隆典
授業形態：座学と演習
教　　材：シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト＆問題集
　　プリント資料、オンライン資料
教員の実務経験：Webサイト／Webベースシステムの開発に20年従事
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：
小中規模のネットワークにおけるスイッチおよびルータの基本設定を、実機やネットワークシミュレータを用いた演習を行いつつ学ぶ。

到達目標：
(1) ネットワークに関する基礎知識を身につける
(2) IOSの基本的な操作方法を身につける

評価方法／基準：
講義中に適宜出題される演習課題および期末試験の結果によって評価する。
達成度80%以上をA、70%以上をB、60%以上をCとする。60%未満は評価Dとする。

その他，注意事項：
・演習ではノートPCを使用するので、講義時には忘れずに用意すること
・単に講義を聞いてさえいれば知識や技術が身につくというものではない。各自で復習・演習を怠らないこと。

関連する主な検定試験：
CCNA、ネットワークスペシャリスト

キーワード：

＜授業計画＞

第１週	概要と前提知識の確認
第２週	ネットワーク基礎
第３週	ネットワーク基礎（演習）
第４週	イーサネット
第５週	イーサネット（演習）
第６週	TCP/IP
第７週	TCP/IP（演習）
第８週	IPv4アドレスとサブネット
第９週	IPv4アドレスとサブネット（演習）
第１０週	Cisco IOSソフトウェアの操作
第１１週	Cisco IOSソフトウェアの操作（演習）
第１２週	Cisco IOSソフトウェアの操作（実践演習）
第１３週	総合演習
第１４週	総合演習
第１５週	まとめ

2025年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：プログラム演習１

対象クラス(コース)：1学年　医療ビジネス学科（ITコース）
単 位 数：2
担当教員名：勝場恵一
授業形態：講義と演習
教　　材：新・標準プログラマーズライブラリ なるほどなっとく C#入門
　　Visual Studio 2022
教員の実務経験：有
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：
　C#の文法及び構造化プログラミングを学ぶ授業。C#はアプリケーション開発及び学習の容易さが特徴としてある言語である。C#ではGUIアプリやWebアプリ、ゲーム制作等多岐にわたる開発が可能なため、習得後さまざまな用途で使用が可能である。
　この授業では、どの言語でも実装されているような基本的な機能の習得を目的とする。
到達目標：
　(1) プログラムがどのように動作するか理解する。
　(2) C#による構造化プログラミングを理解する。
　(3) アルゴリズムを応用し、目的のプログラムを実装できる。

評価方法／基準：
期末テスト及び出席状況と授業態度により総合的に評価する。

その他，注意事項：
・授業中の私語は慎んでください。
・自分のノートパソコンを忘れずに持ってきてください。

関連する主な検定試験：ITパスポート試験，基本情報技術者試験、その他IT試験

キーワード：
C#，オブジェクト指向，プログラミング，クラスライブラリ

＜授業計画＞

第１週	開発環境の構築 C#とは
第２週	講義　演算と変数
第３週	演習　演算と変数1
第４週	演習　演算と変数2
第５週	講義　条件分岐
第６週	演習　条件分岐1
第７週	演習　条件分岐2
第８週	講義　繰り返し処理
第９週	演習　繰り返し処理1
第１０週	演習　繰り返し処理2
第１１週	講義　繰り返し処理(2重ループ)
第１２週	演習　繰り返し処理(2重ループ)
第１３週	演習　繰り返し処理(2重ループ)
第１４週	期末試験
第１５週	期末試験解説

2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：ソフトウェア演習１

対象クラス(コース)：１学年　医療ビジネス学科（医療事務／IT コース）
単 位 数：2
担当教員名：田中　直也
授業形態：：講義と演習
教　　材：MOS 攻略問題集ワード・パワポ、30 時間でマスターワード・パワポ
教員の実務経験：ゲーム・アニメ制作などのコンピューター業務、様々なソフトを使用し 25 年間勤務
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：
　基本操作を学習しながら、実務で活用するための演習を行う。
　Word および PowerPoint 2019 Specialist の利用能力を証明する MOS 試験の出題範囲の操作や機能を学習する

到達目標：
　(1)パソコンのフォルダ構成などの基本を覚える。
　(2) MOS 試験 Word 2019 Specialist 合格
　(3) MOS 試験 PowerPoint 2019 Specialist 合格

評価方法／基準：MOS 試験、模擬テストの結果、学習態度の評価の総合評価
Ａ：総合評価が８０点以上
Ｂ：総合評価が７０点以上
Ｃ：総合評価が６０点以上
Ｄ：上記以外

その他，注意事項：

関連する主な検定試験：MOS 試験

キーワード：ビジネス文書

＜授業計画＞

第１週	学習環境の準備 パソコンのフォルダの構成など。
第２週	30時間でマスターWord2019　教科書１・２章
第３週	教科書３章　文書の作成① Mos模試ソフト練習
第４週	教科書３章　文書の作成② 試験対策
第５週	教科書４章　ワードの活用① 試験対策
第６週	教科書４章　ワードの活用② 試験対策
第７週	教科書５章　ワードの活用２① 試験対策
第８週	教科書５章　ワードの活用２② 試験対策
第９週	教科書５章　ワードの活用２③ 試験対策
第１０週	教科書６章　ワードの応用 試験対策
第１１週	教科書７章　ワードによるプレゼンテーション 試験対策
第１２週	Mos試験（Word）
第１３週	30時間でマスターPowerPoint2019　教科書３章① 試験対策
第１４週	教科書３章② 試験対策
第１５週	教科書４章 試験対策

2025 年度　　前期　　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：生活支援技術Ⅱ

対象クラス(コース)：１学年　介護福祉学科

単 位 数：３

担当教員名：高松浩之、美濃口えりか、足立原崇、武石稔弘

授業形態：講義・演習（全 45 回）

教　　材：最新介護福祉士養成講座　6・7　生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　第 2 版　中央法規出版株式会社　※配布資料・スマートフォン・タブレット端末を使用する場合がある。

教員の実務経験：介護保険施設・事業所、障害者支援施設等で、介護福祉職の経験を有する。

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

生活支援の理解、休息・睡眠の介護、自立に向けた移動の介護、自立に向けた身じたくの介護、自立に向けた入浴・清潔保持の介護、福祉用具の意義等を学ぶ。

ねらい：

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。

到達目標：

(1) ICF の視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援につながる。

(2) 対象者の能力を活用・発揮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得する。また、実践の根拠について、説明できる能力を身につける。

(3) 健康を維持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援につながる。

(4) 介護ロボットを含め福祉用具を活用する意義やその目的を理解するとともに、対象者の能力に応じた福祉用具を選択・活用する知識・技術を習得する。

評価方法／基準：

期末試験、効果測定、出席、授業態度等を総合的に評価する。

期末試験 30%、効果測定 50%、出席 10%、授業態度 10%

※ 期末試験（筆記試験）は 60 点以上を合格とする。

※ 教員があらかじめ指示した身だしなみ（ユニフォーム、靴、髪型、エプロン、三角巾等）を整えなかった場合、その授業は見学での参加とし、授業態度から減点する。

※ 授業開始後に授業に必要な物（教科書、タブレット、介護実習の手引き等）を用意するために退室した場合、身だしなみ（ユニフォーム、靴、髪型、エプロン、三角巾等）を整えるために退室した場合には授業態度から減点する。

その他，注意事項：

質の高い学習とするために、以下の点について留意する。

1　事前学習

毎回の授業前に、授業範囲のページを確認する。

2　事後学習

毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深める。

3　課題やレポートは期日までに提出する。

4　遅刻、欠席、早退をする場合は、事前に連絡する。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：生活支援、介護過程、チームアプローチ、多職種、自立、休息、睡眠、移動、身じたく、入浴、清潔保持、福祉用具

＜授業計画＞

第1回	生活支援の理解　生活支援の基本的な考え方【講義】
第2回	生活支援の理解　生活支援の基本的な考え方【講義】
第3回	生活支援の理解　生活支援と介護過程【講義】
第4回	生活支援の理解　生活支援とチームアプローチ【講義】
第5回	休息･睡眠の介護　休息･睡眠とは 【講義】
第6回	休息･睡眠の介護　休息･睡眠の介護における多職種との連携【講義】
第7回	休息･睡眠の介護【演習】
第8回	休息･睡眠の介護【演習】
第9回	休息･睡眠の介護【演習】
第10回	休息･睡眠の介護【演習】
第11回	休息･睡眠の介護【演習】
第12回	休息･睡眠の介護【演習】
第13回	休息･睡眠の介護【演習】
第14回	休息･睡眠の介護【効果測定】
第15回	休息･睡眠の介護【効果測定】
第16回	自立に向けた移動の介護　自立した移動とは【講義】
第17回	自立に向けた移動の介護　移動の介護における多職種との連携【講義】
第18回	自立に向けた移動の介護【演習】
第19回	自立に向けた移動の介護【演習】
第20回	自立に向けた移動の介護【演習】
第21回	自立に向けた移動の介護【演習】
第22回	自立に向けた移動の介護【演習】
第23回	自立に向けた移動の介護【演習】

第24回	自立に向けた移動の介護【演習】
第25回	自立に向けた移動の介護【演習】
第26回	自立に向けた移動の介護【効果測定】
第27回	自立に向けた移動の介護【効果測定】
第28回	自立に向けた身じたくの介護　自立した身じたくとは【講義】
第29回	自立に向けた身じたくの介護　身じたくの介護における多職種との連携【講義】
第30回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第31回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第32回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第33回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第34回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第35回	自立に向けた身じたくの介護【演習】
第36回	自立に向けた身じたくの介護【効果測定】
第37回	自立に向けた身じたくの介護【効果測定】
第38回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護　自立した入浴とは【講義】
第39回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護　入浴の介護における多職種との連携【講義】
第40回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護【演習】
第41回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護【演習】
第42回	福祉用具の意義　生活支援における福祉用具の重要性【講義】
第43回	福祉用具の意義　福祉用具の種類　適切な福祉用具を選ぶための視点【講義】
第44回	まとめ
第45回	【筆記試験・解説】

※　授業計画は状況により変更する場合がある。

2025 年度　　前期　　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：介護の基本Ⅰ

対象クラス(コース)：１学年　介護福祉学科
単 位 数：1
担当教員名：高松　浩之
授業形態：講義（全 15 回）
教　　材：最新介護福祉士養成講座　3　介護の基本Ⅰ　第 2 版　中央法規出版株式会社　　※配布資料・スマートフォン・タブレット端末を使用する場合がある。
教員の実務経験：介護福祉職（介護福祉士）としての経験を有する。
授業内容：（実務経験を活かした指導内容）：介護福祉の基本となる理念、介護福祉士の役割と機能
ねらい：介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。

到達目標：
(1) 複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解する。
(2) 地域や施設・在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を理解する。

評価方法／基準：
期末試験、確認テスト、出席、授業態度・提出物等を総合的に評価する。
期末試験 70%、確認テスト 10%、出席 10%、授業態度 10%
※期末試験は 60 点以上を合格とする。
※授業開始後に授業に必要な物（教科書、タブレット、介護実習の手引き等）を用意するために退室した場合は授業態度から減点する。

その他，注意事項：
質の高い学習とするために、以下の点について留意する。
1　事前学習
毎回の授業前に、授業範囲のページに目を通す。課題が出た場合は課題を行う。
2　事後学習
毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深める。
3　課題やレポートは、指示された期日までに提出する。
4　遅刻、欠席、早退は事前に連絡する。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：理念、介護ニーズ、尊厳の保持、自立支援、介護予防、看取り、役割、機能

＜授業計画＞

第1回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉を取り巻く状況【講義】
第2回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉を取り巻く状況【講義】
第3回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉の歴史【講義】
第4回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉の歴史【講義】
第5回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉の基本理念【講義】
第6回	介護福祉の基本となる理念　介護福祉の基本理念【講義】
第7回	【確認テスト】、介護福祉士の役割と機能　社会福祉士及び介護福祉士法【講義】
第8回	介護福祉士の役割と機能　社会福祉士及び介護福祉士法【講義】
第9回	介護福祉士の役割と機能　介護福祉士の活躍の場と役割【講義】
第10回	介護福祉士の役割と機能　介護福祉士の活躍の場と役割【講義】
第11回	介護福祉士の役割と機能　介護福祉士に求められる役割とその養成【講義】
第12回	介護福祉士の役割と機能　介護福祉士に求められる役割とその養成【講義】
第13回	介護福祉士の役割と機能　介護福祉士を支える団体【講義】
第14回	まとめ
第15回	【筆記試験・解説】

※　授業計画は状況により変更する場合がある。

2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：発達と老化の理解Ⅰ

対象クラス(専攻/コース)：1 学年　介護福祉学科)
単 位 数：1
担当教員名：木村久枝
授業形態：講義・グループワーク等（全 15 回）
教　　材：最新介護福祉士養成講座１２「発達と老化の理解」第 2 版　中央法規出版株式会社　　※授業資料・タブレット端末なども活用する。
教員の実務経験：看護師として病院勤務、看護師養成、介護士養成等の経験を有する。
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：
介護実践に必要な根拠となる、発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を総合的にとらえるための知識を身につけるため、下記の到達目標が達成できる授業内容とする。
ねらい　人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を習得する学習とする。
到達目標：
(1) 人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期（乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期・老年期）における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題について理解する。
(2) 老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や、高齢者に多く見られる疾病と生活への影響、健康の維持・増進を含めた生活の支援について理解する。
評価方法／基準：
期末試験（総まとめ筆記試験）、確認テスト、授業態度（出欠席、授業への準備姿勢、参加態度）を総合的に評価する。※期末試験は 60 点以上を合格とする。
期末試験 80%　確認テスト 10%　授業態度 10%
※確認テスト：
・欠席等で確認テストが受けられなかった場合は、自ら再試験の希望を申請する
※授業態度について：
・授業への準備姿勢：始業時テキストや充電されたタブレットを持参している
・参加態度：原則として授業中にスマートフォンを使用しない、おしゃべり・居眠りをしない等
その他，注意事項：
１. 事前学習：毎回の授業前に、授業資料・授業範囲のテキストのページに目を通す。
２. 事後学習：毎回の授業内容・確認テストを復習し理解する。不明な点は質問する。
関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：発達段階と発達課題、発達理論、成長・発達、疾病・障害、老年期の定義、老化

＜授業計画＞

第１回	成長・発達の考え方（テキストP2～6）	講義
第２回	成長・発達の原則・法則、成長・発達に影響する要因（テキストP7～17）	講義
第３回	発達理論（テキストP20～26）	確認テスト①・講義
第４回	発達段階の概要（テキストP26～34）	講義
第５回	身体的機能の成長と発達（テキストP35～39）	確認テスト②・講義
第６回	発達にともなう特徴的な疾病や障害（テキストP39～46）	講義
第７回	心理的機能の発達（テキストP47～54）	講義
第８回	社会的機能の発達①（テキストP55～68）	確認テスト③・講義
第９回	社会的機能の発達②（テキストP55～68）	講義
第１０回	老年期の定義、老化とは（テキストP70～79）	確認テスト④・講義
第１１回	老年期の発達課題①（テキストP80～97）	講義
第１２回	老年期の発達課題②（テキストP80～97）	講義
第１３回	老年期をめぐる今日的課題（テキストP98～107）	確認テスト⑤・講義
第１４回	第１回～13回までのまとめ（テキストP2～107）	講義
第１５回	総期末試験（総まとめ筆記試験）	試験

（注釈）

※ 授業計画については、状況により変更する場合があります。

2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：介護過程Ⅰ

対象クラス(コース)：１学年　介護福祉学科
単 位 数：２
担当教員名：足立原　崇
授業形態：講義・演習（全 30 回）
教　　材：最新介護福祉士養成講座　9　介護過程　第 2 版　中央法規出版株式会社
※配布資料・スマートフォン・タブレット端末なども活用する。
教員の実務経験：介護福祉職（介護福祉士）の経験を有する。
授業内容（実務経験を活かした指導内容）：介護過程の意義と基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、介護過程の展開の理解

ねらい

本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。

到達目標

(1) 介護実践における介護過程の意義の理解を踏まえ、介護過程を展開するための一連のプロセスと着眼点を理解することができる。
(2)介護サービス計画や協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画との関係性、チームとして介護過程を展開することの意義を理解することができる。
(3) 個別の事例を通じて、アセスメント（情報の解釈、関連付け、統合化）を実践し、演習を行うことができる。

評価方法／基準

授業態度（出欠席・姿勢・提出物等）、確認テスト・期末試験などの結果を総合的に評価する。

期末試験 40%、確認テスト・演習 40%、出席 10%、授業態度 10%

※ 期末試験は 60 点以上を合格とする。

※ 授業開始後に授業に必要な物（教科書、タブレット、介護実習の手引き等）を用意するために退室した場合は授業態度から減点する。

その他，注意事項

１　事前学習
毎回の授業前に、授業範囲のページを確認する。課題が出た場合は課題を行う。
２　事後学習
毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深める。
３　課題やレポートの提出を指示された場合は、作成し指定期間までに提出する。

４　遅刻、欠席、早退をする場合は事前に連絡する。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：介護過程、事例検討、ケーススタディ、事例研究、アセスメント、解釈・関連づけ・統合化、介護計画、実施、評価

＜授業計画＞

第1回	介護過程とは　テキスト：P2～9　講義
第2回	介護過程とは　テキスト：P2～9　講義
第3回	介護過程とは　テキスト：P2～9　講義
第4回	介護過程とは　テキスト：P9～16　講義
第5回	介護過程とは　テキスト：P9～16　講義
第6回	介護過程とは　テキスト：P9～16　講義
第7回	介護過程とは（アセスメント疑似体験）　テキスト：P16～22　講義・演習
第8回	介護過程とは（アセスメント疑似体験）　テキスト：P16～22　講義・演習
第9回	介護過程とは（アセスメント疑似体験）　テキスト：P16～22　講義・演習
第10回	介護過程における事例検討・事例研究の必要性1　テキスト：P25～32 講義・確認テスト
第11回	介護過程における事例検討・事例研究の必要性2 事例検討会の演習　演習
第12回	介護過程における事例検討・事例研究の必要性3 事例研究（ケーススタディ）の演習　演習
第13回	介護過程の展開　テキストP34～37　講義
第14回	介護過程の展開　テキストP34～37　講義
第15回	介護過程の展開　テキストP34～37　講義・確認テスト
第16回	アセスメント（情報収集）　テキスト：P38～45　講義・演習
第17回	アセスメント（情報収集）　テキスト：P38～45　講義・演習
第18回	アセスメント（情報収集）　テキスト：P38～45　講義・演習
第19回	アセスメント（情報収集）　テキスト：P38～45　講義・演習
第20回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）　テキスト：P48～55　講義

第21回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）	テキスト：P48～55	講義
第22回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）	テキスト：P55～61	講義
第23回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）	テキスト：P55～61	講義
第24回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化） 情報の解釈の演習①		演習
第25回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化） 情報の解釈の演習②		演習
第26回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化） 情報の解釈の演習③		演習
第27回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化） 情報の解釈の演習④		演習
第28回	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化） 情報の解釈の演習⑤		演習
第29回	まとめ（第1回～28回の内容）		講義
第30回	総まとめ（第1回～28回までの内容）		試験・解説

※授業計画は状況より変更する場合がある。

2025 年度　前期　授業シラバス

医療ビジネス観光福祉専門学校

科目名：こころとからだのしくみⅠ

対象クラス(専攻/コース)：1 学年　介護福祉学科

単 位 数：1

担当教員名：津田新菜

授業形態：講義・グループワーク等（全 15 回）

教　　材：最新介護福祉士養成講座１１「こころとからだのしくみ」第 2 版　中央法規出版株式会社　　※授業資料・タブレット端末なども活用する

教員の実務経験：看護師として病院、看護師養成校、老健施設での経験を有する。

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や機能について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を総合的にとらえるための知識を身につけるため、下記の到達目標が達成できる授業内容とする。

ねらい　介護を必要とする人の生活の支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解し、サービスを提供する際に必要な観察力、判断力の基礎を習得する学習とする。

到達目標：

(1) 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心理、人体の構造と機能の基礎的な知識を理解する。

(2) 生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。

評価方法／基準：

期末試験（総まとめ筆記試験）、確認テスト、授業態度（出欠席、授業への準備姿勢、参加態度）を総合的に評価する。※期末試験は 60 点以上を合格とする。

期末試験 80%　確認テスト 10%　授業態度 10%

※確認テスト：

・欠席等で確認テストが受けられなかった場合は、自ら再試験の希望を申請する。

※授業態度について：

・授業への準備姿勢：始業時テキストや充電されたタブレットを持参している。

・参加態度：原則として授業中にスマートフォンを使用しない、おしゃべり・居眠りをしない等

その他，注意事項：

１. 事前学習：毎回の授業前に、授業資料・授業範囲のテキストのページに目を通す。

２. 事後学習：毎回の授業内容・確認テストを復習し理解する。不明な点は質問する。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード： 健康、健康寿命、こころのしくみ、人間の欲求、適応機制、身体各部の名称と機能、生命徴候（バイタルサイン）

＜授業計画＞

第１回	「健康」とは何か（テキストP2～12） 講義
第２回	こころのしくみの理解：人間の欲求、自己実現と尊厳 （テキストP14～23） 講義
第３回	こころのしくみの基礎１：認知、学習、記憶、思考、感情、意欲のしくみ （テキストP24～34） 確認テスト①・ 講義
第４回	こころのしくみの基礎２：脳のしくみ、適応のしくみ （テキストP24～27、35～39） 講義
第５回	からだのしくみの理解１：身体各部の名称 （テキストP42～49） 確認テスト②・講義
第６回	からだのしくみの理解２：脳・神経（テキストP49～53、71～72） 確認テスト③・講義
第７回	からだのしくみの理解３：感覚器（テキストP53～56） 講義
第８回	からだのしくみの理解４：呼吸器（テキストP56～58） 確認テスト④・講義
第９回	からだのしくみの理解５：循環器（テキストP58～60、78～80） 講義
第１０回	からだのしくみの理解６：消化器（テキストP60～63） 確認テスト⑤・講義
第１１回	からだのしくみの理解７：泌尿器、生殖器（テキストP63～64、72～78）講義
第１２回	からだのしくみの理解７：骨、筋肉、関節（テキストP65～70） 確認テスト⑥・講義
第１３回	生命を維持するしくみ（テキストP81～86） 確認テスト⑦・講義
第１４回	第１回～13回までのまとめ（テキストP2～88） 講義
第１５回	期末試験（総まとめ筆記試験） 試験

（注釈）

※ 授業計画については、状況により変更する場合があります。